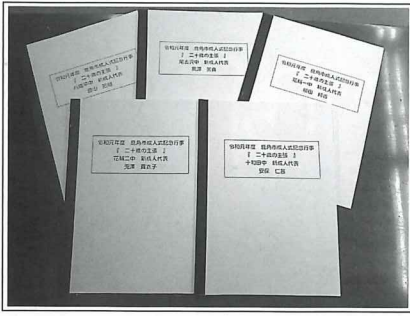


新成人が鹿角市議会を訪れました

8月16日に開催された令和元年度鹿角市成人式において記念行事「二十歳の主張」私が住みたいまち「鹿角」が実施され、市内各中学校の卒業生代表1名（計5名）がそれぞれ鹿角にどのような想いを抱いているか、また、どのようにしたら皆が住みたいと思えるまちになるかなど、若者らしい視点で発表を行い、どの主張が一番共感できるかを選ぶため、新成人で模擬投票を行いました。



議長へ提出された「二十歳の主張」は議会事務局（市役所3階）でどなたでもご覧いただけます。

模擬投票の結果報告をするため、9月11日に新成人代表2名が議長のもとを訪れ懇談しました。成人式実行委員長の杉江瞳莞さんからは「鹿角市をより良

くするために、どうすればいいかを発表いただいた。出された意見が鹿角に若者が帰ってくるための参考になればと考えている」と新成人としての想いを述べ、また、議長からは「今回の企画は、若者の投票に対する意識付けに良い機会となった」「どの提案も若者が鹿角をどうしたいかを知るための貴重なものである」「皆さんで話し合う機会を設け、鹿角を良くするための案があれば教えていただきたい」と述べました。

新成人の提案は、議員活動の参考とするため、9月定例会中に全議員に配付しております。

「二十歳の主張 わたしが住みたいまち 鹿角」

卒業校	代表者	題名
八幡平中	畠山拓朗さん	子育てが誇れる鹿角市に
尾去沢中	黒澤美貴さん	鹿角を住みやすい町にするためには
花輪一中	柳田純香さん	公共交通機関の充実を
花輪二中	兎澤真衣子さん	最低賃金の引き上げによる地域経済の活性化
十和田中	安保仁茜さん	世界から人が集まる鹿角市に

若者視点での鹿角への想い

国特別史跡「大湯環状列石」の世界文化遺産登録に大きな一歩

令和元年7月30日に開催された文化審議会世界文化遺産部会において、構成資産に大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が令和元年度の世界文化遺産推薦候補に選定されました。



北海道・北東北の縄文遺跡群 構成資産 国特別史跡「大湯環状列石」

鹿角市議会では、大湯環状列石の世界文化遺産への早期登録を推進しており、これまで「北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた推薦を求める意見書」の関係省庁への提出や、各要望活動などを行っています。

今後は本登録に向け、各機関連携のもと、さらに力強く取り組んでまいります。

▶ 推薦候補に選定された後の流れ

時期	内容
令和元年9月30日まで	国からユネスコ世界遺産センターへ推薦書（暫定版）を提出
令和2年2月1日まで	国からユネスコ世界遺産センターへ推薦書を提出
令和2年秋頃	国際記念物遺跡会議（ICOMOS）による現地調査
令和3年5月頃	国際記念物遺跡会議（ICOMOS）による評価結果の勧告
令和3年夏頃	ユネスコ世界遺産委員会において審議を行い登録の可否を決定

北海道・北東北の縄文遺跡群とは

東北アジアの多様な地理的・自然的環境において、狩猟・採集・漁労を基盤に1万年前から定住が開始、発展、成熟し、長期間継続した先史文化の生活や祭祀・儀礼のあり方を示す「大湯環状列石」を含む17の考古学的遺跡からなる遺産のことをいいます。